

# 公益財団法人平野政吉美術財団

## 平成31年度・令和元年度事業報告

### <総括>

平成31年度・令和元年度の事業については、当財団の目的に沿った活動を行った。美術館の指定管理については適切に実施した。

- ・展示公開事業は、常設展の他、企画展を3回、特別展を3回、開催。特別展「藤城清治 こびとと生きる喜び展」、特別展「キスリング展」、特別展「師・黒田清輝 妻・鴫田とみ 藤田嗣治 東京美術学校から渡仏へ」、企画展「画家とコレクターの愛蔵品」、企画展「デッサンの温度」、企画展「平野政吉コレクションの西洋画」を開催した。
- ・教育普及事業としては、年度を通して、講演会を3回、ワークショップを3回行った、美  
コロナウィルス感染拡大防止のため、ワークショップ1回、美術館教室1回が直前で中止  
になった。
- ・調査研究の成果は、展覧会に生かし、また寄稿や講演で発表した。
- ・美術ホール運営事業は、秋田県主催、マスコミ主催などの展覧会など比較的規模が大きい  
展覧会が多く開催された。また、特別展「藤城清治 こびとと生きる喜び展」の会場とし  
ても美術ホールを活用し、大規模な展観を実現した。
- ・売店事業は、来館者へのサービスの一貫として、業者への委託販売とインターネットでの  
販売を展開した。

## I 展示公開事業

### (1) 常設展示事業

#### 常設展 平野政吉コレクション

- 1 会 期 令和元年7月21日（日）～令和元年9月23日（月・祝）
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 藤田嗣治の中南米や中国への旅取材した作品、および日本をテーマにした  
作品を展観した。
- 4 入場者数 3,725人

### (2) 企画展示事業

#### 企画展 画家とコレクターの愛蔵品

- 1 会 期 平成31年4月4日（木）～平成31年5月19日（日）

- 2 会 場 ギャラリー1・2  
 3 内 容 藤田嗣治が愛着を寄せた作品をエピソードとともに展示、あわせて平野政吉が惹かれ所有していた作品も紹介した。  
 4 入場者数 6, 954人

企画展 デッサンの温度－藤田嗣治と秋田の画家たち－

- 1 会 期 令和元年5月25日（土）～令和元年7月15日（月・祝）  
 2 会 場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2  
 3 内 容 藤田嗣治が1930年代に描いたデッサンや墨画、油彩画を展示、あわせて秋田で活動している画家、彫刻家たちのデッサンも紹介した。  
 4 入場者数 6, 704人

企画展 平野政吉コレクションの西洋画

- 1 会 期 令和2年2月1日（土）～令和2年4月5日（日）  
 2 会 場 ギャラリー1・2  
 3 内 容 平野政吉コレクションより、平野政吉が藤田嗣治との交流を機に収集した西洋画と藤田が中南米で入手した宗教画を紹介した。  
 4 入場者数 2, 525人

(3) 特別展示事業

特別展 藤城清治 こびとと生きる喜び展

- 1 会 期 令和元年7月21日（日）～令和元年9月23日（月・祝）  
 2 会 場 県民ギャラリー、ギャラリー1・2  
 3 内 容 独自の技法でファンタジーや童話の世界を描き出す影絵作家・藤城清治の作品を展示。代表作から近作、そして秋田をテーマにした作品も紹介した。  
 4 入場者数 24, 381人

特別展 キスリング展

- 1 会 期 令和元年9月29日（日）～令和元年11月24日（日）  
 2 会 場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2  
 3 内 容 エコール・ド・パリを代表する画家のキスリングが初期から晩年にかけて描いた様々な主題の作品を、国内外の美術館や個人コレクションから紹介した。  
 4 入場者数 8,441人

特別展 師・黒田清輝 妻・鴫田とみ 藤田嗣治 東京美術学校から渡仏へ

- 1 会 期 令和元年11月30日（土）～令和2年1月26日（日）  
 2 会 場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2  
 3 内 容 東京美術学校在学中に出会った妻・鴫田とみに宛ててフランスから差し出した藤田嗣治の書簡、および渡仏前の風景画を展観。黒田清輝についてはフランス滞在期と帰国後の作品、「構想画」として取り組んだ《昔語り》の下絵などを展示した。  
 4 入場者数 4,915人

※同時開催の展覧会の入場者数は、各々表記した。

## II 教育普及事業

### (1) 講演会等

#### 特別展「キスリング展」関連講演会

- 1 演 題 「キスリングとエコール・ド・パリ—華麗なるメランコリー—」
- 2 実施日 令和元年10月20日(日)
- 3 会 場 レクチャールーム
- 4 講 師 村上哲氏(アート・キュレーション代表、キスリング展統括・監修)
- 5 内 容 キスリングの生涯と作品を通観しながら、画家の芸術を形成した要因や「エコール・ド・パリ」という言葉の意味や変遷を紹介。当時の時代背景についてなど興味深いお話に参加者は熱心に耳を傾けていた。
- 6 参加者数 35人

#### 特別展「師・黒田清輝 妻・鴫田とみ 藤田嗣治 東京美術学校から渡仏へ」関連講演会

- 1 演 題 「藤田嗣治と黒田清輝—裸婦と構想画という視点から」
- 2 実施日 令和元年12月15日(日)
- 3 会 場 レクチャールーム
- 4 講 師 山梨絵美子氏(独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所 副所長)
- 5 内 容 東京美術学校で藤田を指導した黒田が提示した日本近代絵画の課題。その課題を実現し国際的に活躍した画家が藤田であるという、新しい視点の考察に参加者は熱心に耳を傾けていた。
- 6 参加者数 55人

#### 講演会

- 1 演 題 「秋田のアートシーンの断面 学芸員の視座より」
- 2 実施日 令和元年11月10日(日)
- 3 会 場 レクチャールーム
- 4 講 師 山本 丈志氏(美術史家、秋田県立博物館学芸員)
- 5 内 容 秋田の画壇の推移を解説した上で、学芸員として向き合った同時代のアーティストや、企画した展覧会を紹介。また、真のアートの普遍性を信じて世界に向き合う姿勢についてなど、興味深いお話に参加者は真剣に耳を傾けていた。
- 6 参加者数 35人

### (2) ワークショップ・美術館教室

#### ワークショップ「館長によるデッサン講座」

- 1 実施日 令和元年6月23日(日)、6月30日(日)、7月7日(日)
- 2 会 場 レクチャールーム
- 3 講 師 渋谷重弘氏(秋田県立美術館 館長)
- 4 内 容 全3回の講座。鉛筆で黒く塗りつぶした画面から消しゴムでモチーフをデッサンしていった。
- 5 参加者数 17人

#### ワークショップ「僕にも描ける抽象画」

- 1 実施日 令和元年12月22日(日)
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 講師 渋谷重弘氏(秋田県立美術館 館長)
- 4 内容 子どもや親子連れを対象に、身近な画材であるクレヨンと水彩絵の具を使った抽象画を制作した。
- 5 参加者数 9人

#### ワークショップ「スチレン版画で自分だけのお家をつくろう！」

- 1 実施日 令和2年3月14日(土)
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 講師 伊藤由美子氏(版画家)
- 4 内容 スチレンボードを使用した版画の制作。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。

#### 美術館教室「太平山三吉神社 梵天奉納 三吉節」

- 1 実施日 令和2年3月8日(日)
- 2 会場 ミュージアム・ラウンジ
- 3 講師 学芸員
- 4 奏者 進藤義声氏(三吉節保存会会長)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

#### ワークショップ「ぬりえを楽しもう」

- 1 実施日 令和2年2月1日(土)、2日(日)
- 2 会場 にぎわい交流館 AU1階
- 3 講師 学芸員
- 4 内容 なかいちウインターパーク「童っこの雪まつり」において、ワークショップを開催した。
- 5 参加者数 20人

#### (6) 学芸員によるギャラリートーク

#### 企画展「画家とコレクターの愛蔵品」ギャラリートーク

- 1 実施日 平成31年4月20日(土)、5月18日(土)
- 2 会場 3階ギャラリー
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 22人

#### 企画展「デッサンの温度－藤田嗣治と秋田の画家たち－」ギャラリートーク

- 1 実施日 令和元年6月15日(土)、7月13日(土)
- 2 会場 3階ギャラリー
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 22人

#### 特別展「キスリング展」ギャラリートーク

- 1 実施日 令和元年10月19日(土)、11月2日(日)、11月16日(土)
- 2 会場 2階大壁画ギャラリー、3階ギャラリー
- 3 講師 学芸員

4 参加者数 53人

特別展「師・黒田清輝 妻・鴫田とみ 藤田嗣治 東京美術学校から渡仏へ」ギャラリートーク

- 1 実施日 令和元年12月21日(土)、令和2年1月18日(土)、
- 2 会場 2階大壁画ギャラリー、3階ギャラリー
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 44人

企画展「平野政吉コレクションの西洋画」ギャラリートーク

- 1 実施日 令和2年2月15日(土)
- 2 会場 3階ギャラリー
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 7人

常設展関連 定例ギャラリートーク《秋田の行事》を読み解く

- 1 実施日 毎月第1土曜日・8月3日・4日・5日・6日
- 2 会場 大壁画ギャラリー
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 159人

### Ⅲ 調査研究事業

#### 1. 展覧会図録

##### 論文

- ・佐々木佳苗 藤田嗣治と鴫田とみ 1913 から 1916 『師・黒田清輝 妻・鴫田とみ 藤田嗣治 東京美術学校から渡仏へ』図録、令和元年11月、秋田県立美術館

##### コラム

- ・原田久美子 東京駅帝室用玄関壁画を仰ぎ見る『師・黒田清輝 妻・鴫田とみ 藤田嗣治 東京美術学校から渡仏へ』図録、令和元年11月、秋田県立美術館
- ・小泉俊貴 黒田清輝と美術行政『師・黒田清輝 妻・鴫田とみ 藤田嗣治 東京美術学校から渡仏へ』図録、令和元年11月、秋田県立美術館

#### 2. 新聞寄稿

##### 作品解説

- ・原田久美子 「彫千代《刺青見本図(虎と蛇)》、彫千代《刺青見本図(U.H.W.)》、彫千代《刺青見本図(A.L.S.)》—企画展「画家とコレクターの愛蔵品」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、平成31年4月3日
- ・小泉俊貴 「藤田嗣治《北京での素描(12.1男)》、藤田嗣治《メキシコでの素描(女二人)》—企画展「デッサンの温度—藤田嗣治と秋田の画家たち—」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和元年6月12日
- ・佐々木佳苗 「藤田嗣治《吾が画室》、藤田嗣治 中南米での収集品」—「平野政吉コレクション展」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和元年8月14日
- ・小泉俊貴 「キスリング《ミモザの花束》、キスリング《ベル＝ガズー》」—特別展「キスリング展」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和元年10月2日
- ・佐々木佳苗 「黒田清輝《編物》、藤田嗣治《榛名湖》」—特別展「師・黒田清輝 妻・鴫田とみ 藤田嗣治 東京美術学校から渡仏へ」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和

元年12月4日

- ・小泉俊貴「アンドレ・ロート《船》、フィンセント・ファン・ゴッホ《ガシェ氏像》」一企画展「平野政吉コレクションの西洋画」出品作品『秋田魁新報』すいよう学芸館、令和2年2月22日

#### IV 美術ホール運営事業（貸しホール事業）

##### 1. 事業内容

- ① 県民ギャラリーの利用者に対しては展示構成を確認し、展示作業の補助および作業監視を行った。
- ② 美術ホールと展示室を併せて使用する大型の特別展事業を行った。
  - ・特別展「藤城清治 こびとと生きる喜び展」では3階展示室と美術ホールを使用しての展示を行った。
  - ・児童・生徒の美術館について理解を促すため、セカンドスクール利用の一環として、美術ホールの催し物と展示室の企画展や特別展をあわせて鑑賞する機会を設けた。

##### 2. 実績

総入場者数 56,139人

- ・米村でんじろうのふしぎな実験室 主催：AAB秋田放送  
4月19日（金）～5月12日（日）、入場者数：8,278人
- ・佐々木久隆50年展 主催：佐々木久隆（個人）  
7月9日（火）～7月14日（日）、入場者数：1,402人
- ・日本アニメーション美術の創始者 山本二三展 主催：魁新報社  
12月9日（月）～1月26日（日）、入場者数：9,196人
- ・第67回生徒作品展 明日のクリエイターたち 主催：秋田公立美術大学附属高等学院  
2月7日（金）～2月11日（火・祝）、入場者数：1,024人
- ・秋田公立美術大学 卒業・修了研究作品展2020「ブルーオーシャン・ビュー」  
主催：秋田公立美術大学  
2月14日（金）～2月18日（火）、入場者数：1,860人

#### V 売店事業

##### 1. 事業内容

- ・インターネットでの《秋田の行事》額絵、トートバッグの販売。
- ・秋田県立美術館ミュージアムショップ運営業者・光風舎へ委託販売。

##### 2. 実績

・売り上げ総計 26品 2,900枚

内訳

《秋田の行事》レプリカ	871枚
《秋田の行事》額絵	65枚
絵はがき22種	1,877枚
その他（図録どうぶつものがたり）	3冊

トートバッグ（紺）

84枚

※事業の詳細は、付属明細書および教育普及事業のレジユメのとおり